

**【様式3】事業評価個票**

事業名	元気な地域農業担い手育成支援事業費		開始/終了(予定)年度	令和3 / 令和6		
部局・担当課名	農林水産部農業経営・所得向上推進課					
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱2]競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 [政策1]やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成				
	施策	[施策1]多様な担い手の確保				
	目標指標	新規就農者の東北における順位 令和6年度 東北1位				
事業の目的	地域農業の持続的な発展のため、地域農業を支える多様な担い手による意欲的な取組みをハード・ソフト両面からオーダーメイドで支援する。					
事業概要 (令和5年度の 実施内容)	【事業区分1】 地域農業を支える組織的な取組み 地域ぐるみで省力化・生産性向上や、新規就農者の受入体制づくりの取組みへの支援 [補助対象者] 営農組織、農業者団体等 [補助率] 県1/3、市町村1/6 【補助対象経費上限額】 ハード8,000千円、ソフト300千円					
	【事業区分2】 担い手の経営発展の取組み 認定新規就農者等による経営発展（規模拡大、新規品目導入等）の取組みへの支援 [補助対象者] 就農10年目までで、販売金額1,000万円未満の認定新規就農者等 [補助率] 県1/3、市町村1/6 【補助対象経費上限額】 5,000千円					
	【事業区分3】 女性農業者の活躍促進の取組み 女性の農業への積極的参画や、女性が働きやすい環境づくりに向けた取組みへの支援 [補助対象者] 個人・団体経営体、営農組織、農業者団体・グループ等 [補助率] ハード事業の場合 県1/3、市町村1/6（補助対象経費上限額2,000千円） ソフト事業単独の場合 定額（補助対象経費上限額 県200千円、市町村100千円）					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 上記実施方法とする理由： 事業実施主体（農業者等）の取組みを市町村と連携して支援するため。					
	予算見積書グループ名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
当初予算額 (単位：千円)	① 地域農業を支える多様な担い手育成支援		50,000	47,667	42,935	41,384
	②					
	③					
	④					
	計	—	50,000	47,667	42,935	41,384
財源内訳 (単位：千円)	国庫支出金		25,000	23,833	21,467	20,692
	県債					
	その他特定財源					
	一般財源		25,000	23,834	21,468	20,692
計	—	50,000	47,667	42,935	41,384	
活動指標及び成果指標設定の考え方						
○活動指標 本事業の取組状況は支援を行った件数で明らかになることから、活動指標には「採択件数」を設定した。 ○成果指標 本事業は、新規就農者の受入体制整備や初期投資、女性農業者等の活躍促進の取組みなどを支援するものであり、新規就農者や女性新規就農者数の増加に直結することから、それらを成果指標として設定した。						

**事業所管部局による評価・検証（令和6年6月）**

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明	課題
事業性の 必要性	A	多様な担い手に対しては、国庫補助事業等による支援が行き届かない部分が多く、本事業による支援が継続して必要である。また、担い手不足は全県的な課題であることから、県と市町村が連携して事業を推進していく必要がある。	新規就農者数は増加傾向にあるものの、基幹的農業従事者数は年間約1,400人が減少しており、多様な農業人材の確保とともに、営農組織等による農地の集積・集約化を進め、地域の生産性や農地を維持・発展していくことが引き続き必要である。
事業の 効率性	A	外部有識者を含む審査会での審査に基づき、事業採択を行っている。また、補助については、事業主体や市町村にもそれぞれ負担を求めており、妥当である。	
事業の 有効性 (達成度)	A	令和5年度の採択件数は当初見込みを上回った。	
	A	令和5年度は新規就農者数、女性新規就農者数のいずれも目標を上回った。	引き続き、支援の優先度が高い新規就農者等々による経営発展の取組みを中心に支援を行いつつ、本事業は、国庫補助事業の対象とならない経営体への支援を行うものであることから、今後の国庫補助事業の展開等を踏まえ、必要に応じて対象者や事業内容の検討を行っていく。

(評価基準) 「事業の必要性・事業の効率性」 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い

「事業の有効性(達成度)」 A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)

## 元気な地域農業担い手育成支援事業の主な実績(R5)について

### 1 プロジェクト計画の採択状況

令和5年度は全体で67件の応募があり、審査会での審査等を経て42件の事業を採択。

<採択の考え方>

○事業区分1「地域農業を支える組織的な取組み」及び事業区分3「女性農業者の活躍促進の取組み」については、外部有識者を含む審査会での審査に基づき、基準点を超えた事業のうち上位の事業を予算の範囲内で採択

○事業区分2「担い手の経営発展の取組み」については、農業経営・所得向上推進課からプロジェクト計画の採択案を掲示し、審査会の了解をもって採択

<採択件数>

事業区分	プロジェクトの目的	応募件数 (件)	採択件数 (件)	補助金額 (千円)
1 地域農業を支える組織的な取組み	①地域ぐるみで地域農業の生産性を向上	25	11	13,535
	②地域ぐるみで多様な人材の受入体制を整備	2	2	4,862
2 担い手の経営発展の取組み	新規就農者の経営発展	23	20 うち取下げ3	12,087
3 女性農業者の活躍促進の取組み	①女性農業者の労働環境改善	16	8	3,490
	②女性農業者の活躍場面拡大	0	0	0
	うち、県域での取組み	1	1	290
合 計		67	42 うち取下げ3	34,264

### 2 採択事例

別紙のとおり。

(別紙)

《事業区分1 地域農業を支える組織的な取組み(①生産性向上)》 ■ 農事組合法人NEXT4(南陽市) ～山形県が誇る農業を未来へつなぐプロジェクト～	
取組概要	・米の乾燥調製作業の効率化により、農地の受入拡大にも対応し、水稲のさらなる規模拡大により、販売金額の増加を目指す取組み。
実施主体概要	・構成員7名 ・農業が抱える問題を解決し、地域農業を守っていくため、2018年2月に設立
事業内容	遠赤外線乾燥機、籾摺機、縦型米選機等の導入 【事業費5,745千円、県補助金1,915千円】 ・大型作業施設を建設し、これに伴う機械設備を導入することにより、乾燥調製作業の大幅な効率化が期待され、地域の担い手として安定と安心につなげることが可能。
事業目標(R4→R7)	・販売金額 現状23,350千円 → 目標32,411千円 (+38.8%) ・水稲作付面積 現状26.1ha → 目標31.0ha (+4.9ha)
プロジェクトの評価点	・作業効率の大幅な向上が図られ、コスト削減につながるとともに、若手生産者により継続した農地の受入れや販売金額拡大が見込まれる。

《事業区分3 女性農業者の活躍促進の取組み(①労働環境改善)》 ■ 株式会社只平(尾花沢市) ～女性が安心して農業に従事できる環境整備プロジェクト～	
取組概要	・女性が得意とする繊細な作業の多い花卉生産において、休憩スペースを設置することにより労働環境の改善を図り、新たな女性雇用と新規品目の生産拡大を目指す取組み。
実施主体概要	・構成員22名 ・地域の雇用を守り、農村維持の中核的な役割を担うため、2019年6月に設立
事業内容	女性専用休憩室及び更衣室の導入 【事業費2,133千円、県補助金666千円】 ・女性専用のスペースを整備することで、ストレス軽減、社員の定着率向上につなげるとともに、エアコンのある部屋での休憩により生疲労回復、生産性向上につなげる。
事業目標(R4→R7)	・女性農業者従事者数 現状16名 → 目標18名 (+2名) ・すいか作付面積 現状0a → 目標20a (+20a)
プロジェクトの評価点	・休憩室や更衣室の整備により、ストレスや熱中症リスクの軽減による作業能率の向上とともに、現在の従事者の定着率向上や新たな女性農業者の確保が期待される。

《事業区分2 担い手の経営発展の取組み》 ■ 中村 紘人(河北町)	
取組概要	・防除作業の効率化と選果の機械化により、西洋梨を規模拡大させるとともに、品質向上による販売金額の増加を目指す取組み。
実施主体概要	・県外から移住し地域おこし協力隊として活動後、2020年4月に就農。 ・人・農地プランの中心経営体に位置付けられている。
事業内容	スピードプレーヤー及び自動果実選別機の導入 【事業費5,381千円、県補助金1,666千円】 ・西洋梨の防除作業効率化、品質向上のため、スピードプレーヤーと選果機を導入し、販売量の拡大による販売金額増加を目指す。
事業目標(R4→R7)	・販売金額 現状5,813千円 → 目標7,500千円 (+29.0%)
プロジェクトの評価点	・県外からの就農者として、今後の他地域からの就農者と地域の農業者のつなぎ手となることが期待される。 ・JA青年部員として、地域の食育活動も行っており、地域への貢献度が高い。

《事業区分3 女性農業者の活躍促進の取組み(②活躍場面拡大)》 ■ やまがた農業女子ネットワーク(県) ～あぐっと作物栽培技術向上、6次化研修～	
取組概要	・研修会の実施により、メンバーの技術や経営力の向上とともに、各経営体の経営改善や経営発展につなげる取組み。
実施主体概要	・構成員64名(女性)、コアメンバー(役員)10名 ・2019年に設立
事業内容	視察研修及び6次化等の研修会の実施 【事業費290千円、県補助金290千円】 ・研修会への参加により、女性も経営スキルを身に付け、経営改善や経営発展に貢献できるようにしていく。
事業目標(R4→R7)	・グループ活動への参加者 現状64名 → 目標74名 (+10名) ・コアメンバー(役員) 現状10名 → 目標22名 (+12名) ・研修参加者 現状20名 → 目標45名 (+25名)
プロジェクトの評価点	・経営力向上による各経営体での女性の地位確立や、6次化の拡大による女性農業者の活躍場面の拡大が期待される